

◎開会の宣告

(午前 11 時 40 分)

○議長（大塚純一郎君） それでは、定刻になりました。

当局より、渡部教育長の欠席の届け出がありました。

6 番、矢沢明伸君より欠席の届け出がありました。

定足数に達しましたので、ただ今から令和 4 年只見町議会 2 月会議を開会いたします。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎開議の宣告

○議長（大塚純一郎君） 直ちに本日の会議を開きます。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎会議録署名議員の指名

○議長（大塚純一郎君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において、5 番、小沼信孝君、7 番、中野大徳君の両名を指名いたします。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎町長の行政諸報告

○議長（大塚純一郎君） 日程第 2、町長の行政諸報告を行います。

これを許可いたします。

町長、渡部勇夫君。

〔町長 渡部勇夫君 登壇〕

○町長（渡部勇夫君） それでは、令和 4 年 2 月会議開催にあたり、行政諸報告を申し上げます。

1、只見高校の甲子園出場を応援するためのクラウドファンディングの開始について。只見高校の甲子園出場を応援するため、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング

を令和4年2月4日から開始しました。募集期間を3月31日まで、目標金額を500万円としておりました。2月13日に目標金額、おかげさまで達成となりましたが、3月31日まで継続して支援を募ってまいります。

2、豪雪対策本部の設置について。昨年12月からの降雪により積雪深が只見町豪雪対策要項に定める警戒積雪深260センチメートルに達し、今後も降雪が予想され住民生活に混乱を招くおそれがあること、また雪による事故の更なる発生を防止するため、令和4年2月6日午前10時に只見町豪雪対策本部を設置し、議員各位をはじめ関係機関にお知らせいたしました。また、住民の皆様へは、2月10日付発行のおしらせばんにより除雪及び交通等の安全対策と併せて周知を行ったところです。今後につきましても、交通等のライフラインの確保はもとより、住民生活の安心、安全のため努めてまいります。

3、只見ふるさとの雪まつりの中止について。令和4年2月12日と13日に予定しておりました只見ふるさとの雪まつりにつきましては、新型コロナウイルス感染症が急拡大している状況を受け、1月25日火曜日に中止を決定しました。

4、只見町公の施設における指定管理者の指定の取り消しについて。只見町歳時記会館について、下記のとおり指定管理者の指定を取り消しました。なお、令和4年4月1日以降の指定管理者について募集し、早急に選定を行います。1、指定管理者、株式会社社会津ただみ振興公社。2、指定期間、平成31年4月1日から令和6年3月31日まで。取消通知日、令和4年1月21日。取消し日、令和4年3月31日。5、取消しの事由、指定管理者からの申し出により。

以上でございます。

○議長（大塚純一郎君） これで行政諸報告は終わりました。

◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇

◎議案第3号の上程、説明、質疑、採決

○議長（大塚純一郎君） 続いて、日程第3、議案第3号 令和3年度只見町一般会計補正予算（第10号）を議題といたします。

朗読を省略し、直ちに議案の説明を求めます。

総務課長、増田栄助君。

○総務課長（増田栄助君） それでは、議案第3号 令和3年度只見町一般会計補正予算（第10号）についてご説明を申し上げます。

令和3年度只見町の一般会計補正予算（第10号）は、次に定めるところによるということで、第1条としまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7,450万4,000円を追加をさせていただいて、総額を歳入歳出それぞれ62億3,266万8,000円とさせていただきます。

お開きをいただきまして1ページでございます。

今回、歳入としまして地方交付税1億61万3,000円。あと国庫補助金489万1,000円。基金繰入金としまして6,900万円を補正で増額をさせていただいております。

おめくりをいただきまして、2ページ、歳出でございます。総務費、一般管理費から予備費まででございます。後程、事項別明細で内容についてはご説明をさせていただきたいと思っております。

ちょっと飛ばさせていただきます、5ページをご覧くださいと思います。歳入でございます。

まず、地方交付税でございますが、普通交付税としまして、今般、国の補正予算によりまして財政措置がございました。調整額の復活。また、臨時経済対策費等の再算定によりまして、今回、1億61万3,000円の増額の交付決定がございましたので増額をさせていただいております。

続きまして、国庫支出金の国庫補助金でございますが、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金ということで、3月の接種に向けた経費に充当するための補助ということで489万1,000円計上させていただいております。

繰入金でございます。基金繰入金としまして財政調整基金を充てさせていただいて、予算を調整させていただいているところでございます。

歳出になります。6ページ。

まず、総務費、総務管理費、一般管理費でございますが、今ほど町長の行政諸報告にもありました、令和4年の1月28日に福島県立高等学校野球部が、第94回の選抜高校野球大会21世紀枠ということで出場が決定しております。その後、2月1日に野球部の甲子園出場に関する後援会が設立をされてございます。只見町としましても、只見高校野球部の甲子園出場。これを応援していくということで、補助金としまして1,000万円を今回計上さ

せていただいて支援をしていくということをお願いしてございます。併せまして、文書広報費で様々、甲子園出場に関する広告等が想定されますので、300万円の増額をさせていただいたところでございます。

○議長（大塚純一郎君） 保健福祉課長、増田功君。

○保健福祉課長（増田 功君） 民生費、社会福祉費でございます。社会福祉総務費ですが、扶助費、除雪支援事業給付金で572万円でございます。こちらは豪雪対策本部設置に伴いまして、豪雪に対応するための除雪支援保険の増額であります。2万2,000円掛ける260件分の増額になってございます。

続きまして、衛生費。目の2、予防費でありますけれども、需要費、そして12の委託料でございますが、新型コロナワクチン接種の前倒しに伴う経費でございます。需用費につきましては付属する消耗品。委託料につきましては314万1,000円でございますけれども、システムの改修。そして、新型コロナウイルスワクチン接種委託料ということで診療所のほうにお願いする分でございます。下の送迎車運行業務委託料、臨時警備業務委託料につきましては、土日に保健センターで接種するときのゆきんこタクシーと警備員の業務委託料になってございます。7ページにいきまして、17備品購入費であります。事業用備品ということで165万円でございますが、ディープフリーザー、ワクチンを保管する冷凍庫でございますけれども、その非常用電源装置1台分でございます。

○議長（大塚純一郎君） 農林建設課長、星一君。

○農林建設課長（星 一君） 7ページの中ほど、8款の土木費、道路橋梁費。2目の道路維持費でございます。1億5,000万円の補正をお願いするものです。町道除雪委託料でございます。今般の豪雪によりまして、除雪業務が非常に増えているというようなことで、今後、2月、昨年度ですと、2月の18が最大積雪深ということで3メートル9センチだったと思っておりますが、そういった状況もございました。今後も除雪の業務、さらには当然ながら、今後、排雪業務もあるというようなことで見込みで1億5,000万ほど補正をお願いをするものでございます。よろしくお願いたします。

○議長（大塚純一郎君） 教育次長、馬場一義君。

○教育次長（馬場一義君） 続きまして、教育費、教育総務費の奥会津学習センター費でございます。除雪業務委託料14万4,000円の増額ということで、豪雪のため、除雪関係の費用の不足に対応するための増額をお願いするものになります。

続いて、社会教育費の文化財保護費。除雪機械借上料。こちらは旧長谷部家、旧五十嵐家、旧朝日公民館の除雪のための経費となっております。ただみ・モノとくらしのミュージアム費ではありますが、こちらも豪雪対応ということで除雪機械の借上料58万2,000円の増額をお願いするものになります。

○議長（大塚純一郎君） 総務課長、増田栄助君。

○総務課長（増田栄助君） 8ページ、中段、最後になりますが、予備費で8万2,000円を減額させていただいて調整をさせていただきました。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

11番、鈴木好行君。

○11番（鈴木好行君） 6ページ、歳出の一般管理費の中で只見高校野球部甲子園出場後援会補助金並びに広告料についてお伺いします。

先ほど町長の行政諸報告にもありました、ガバメントクラウドファンディングで、今朝見ましたら530万を超えておりました。非常にあの、喜んでおりますけれども、昨日、高校で聞いてまいりましたら、民間のほうの寄附も1,500万ぐらい、今のところ集まっているというお話を伺ってまいりました。その中でですね、合わせると、今回の1,000万合わせると、大体、3,000万円ぐらいになる。で、1回戦に臨むぐらいはなんとか集まりそうだというお話を伺ってまいりました。その中で、私のところに結構、問い合わせの電話がくるのが、町内の方から、応援したいんだけど、一体、どこに、どうやって応援すればいいんだという電話が結構きます。勿論、町のホームページとか、只見高校のホームページを見てみますと、それは載っていますけれども、そういうホームページ等を見られない方々、そういった方々は応援したい気持ちはあるけど、どこに、どうやっていいのか、わかんねえという方がたくさんいらっしゃいます。ですから、私、委員会でも申し上げましたけれども、町の広報等で是非お願いしたいというふうに喋っておりましたけれども、まだ未だにそれが実施されておられません。只見高校甲子園出場が決まった時、各新聞社は号外等を出されまして、いち早く決定と喜びの声を報道されてました。只見町、そういったのが一個もありません。私はおしらせばんとか、広報ただみとかで、号外のようながな出されて、町全体で盛り

上げていきましょう。応援していきましょう。そういった機運の盛り上がりがあるのかなど期待しておりましたが、いまだにありません。今後どうされるおつもりなのか。そういった姿勢、どういうふうにお考えなのか、お聞かせ願いたいというのが一つ。

それから、除雪に関しましてですけれども、昭和村で、導入、今度、試験運用される、2月の末から試験運用されるという、遠隔による除雪機械の操作という新聞記事を発見しました。それに対して、只見町も今後、検討が必要になってくるのではないかなど。八十里の除雪等も含めてくれば、そういった問題も発生してくる。除雪のオペレーターの人的不足を補うため、また、除雪の労力の助けにもなるため、そういったものを導入を今後考えていかなければならないのかなというふうに私は考えますけれども、その点に関してどう思われるか、2点お伺いします。

○議長（大塚純一郎君） 地域創生課長、目黒康弘君。

○地域創生課長（目黒康弘君） まず1点目の鈴木議員のお質しについてお答え申し上げます。

只見高校の寄附金。寄附金の募集ということで、そちらのほう、町の広報誌でということでお質しをいただきました。こちらについては只見高校の出場決まった時に、町のほうでクラウドファンディング始めるきっかけとかございまして、ホームページ等でいろいろご紹介をさせていただいております。ただ、町内のほうにというご意見もいただいております、高校のほうで雪椿ということで、高校の広報誌の別冊を作って、それと一緒に募金のほうを推奨を回したいということでお話をいただいております。そういった関係もございまして、おしらせばんと一緒に号外を併せて撒くということでしたので、我々のほうもそういった形で対応していただけるということでお話をいただいていたことがありまして、広報誌のほうでは特に、一緒に併せてということはしてございませんでした。なお、そういった時間が経っていることもございましたので、今週、高校のほうにも尚、確認をさせていただいて、今作成中ということでしたので、早ければ今週中には広報誌と併せて一緒にお知らせができるものと考えてございます。

○議長（大塚純一郎君） 農林建設課長、星一君。

○農林建設課長（星 一君） 鈴木議員からお質しございました。昭和村の遠隔操作のもの、私、新聞で、12月ですかね、相当前ですけれども、一度、拝見をしました。そういったものが人員不足であったり、人材不足の中で、一つの会社の手立てという形になろうかと思えます。そういったことの研究につきましては、県も含めて実施をしておりますので、町とし

てもそういったものに、情報に目を光らせてですね、対応をしてみたいと思います。

本日ですけれども、国道289号八十里越の除雪に関する検討会ということで、南会津建設事務所、さらには建設業協会。あと只見町の中で、第1回目の検討会が開かれる予定になっております。そういった中でも、こういったお話は当然出てきますし、建設業協会のほうからも話も頂戴をしておりますので、町内除雪も含めてですけれども、そういった除雪業務、万全を期すために、様々、検討はしてみたいというふうに考えておりますので、ご理解をほどお願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） 11番、鈴木好行君。

○11番（鈴木好行君） 只見高校の寄附金に関しての質問をもう一回します。

このクラウドファンディングを募る時に、そのコメントに、500万を超えても全額、只見高校の今後の部活動のために役立てていただくというふうな趣旨の発言ございました。それと同様に、この1,000万円も、例えば民間からの寄附がいくら多くなろうとも、この金額はそのまま只見高校の部活動、部活動というか、そういった活動に役立てていただくという趣旨で考えてよろしいですか。

○議長（大塚純一郎君） 総務課長、増田栄助君。

○総務課長（増田栄助君） 今回、1,000万円ということで予算計上させていただいた部分については、まあ、後援会での概算での予算に合わせて町での支援ということで考えさせていただいております。また、クラウドファンディングにつきましても、この補助金に充当する部分。また、追加で上乗せをしてできる部分というのは、今後、その支出の状況、歳出といえますか、後援会での支出の状況等を見ながら補助金については改めて検討させていただきたいというふうに考えてございますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（大塚純一郎君） よろしいですか。

11番、鈴木好行君。

3回目。

○11番（鈴木好行君） そうすると、この補助金についての、この1,000万円は、今ほどのお話があると、寄附金いっぱい集まれば、もう、減額もあり得る。そうした場合にですね、例えば、只見高校野球部が2回戦、3回戦に、もしかしたら進むかもしれない。そういった場合に足りなくなるかもしれないから、じゃあまたお願いしますというふうな話になるのかもしれない。私はこの補助金は、いくら寄附が集まろうとも、この後の只見高校の活躍

に役立ててくださいという形で全額支出しても良いのではないかなと。そのぐらいの只見高校は、この只見町を全国的に知らしめる効果を表してくれたんじゃないか。この1,500万に、とりあえずこの1,000万に値するぐらいのPR効果は、そこで出してきてくれないかなというふうに感じます。私はもう、寄附金いくら集まろうとも、この補助金は、この金額で、どうぞ役立ててくださいというふうに活用していただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（大塚純一郎君） 総務課長、増田栄助君。

○総務課長（増田栄助君） おっしゃるとおり、今回、只見高校が甲子園出場ということで、本当に全国的に只見町をPRしていただいたと。PRというと、言い方がちょっと悪いのかもしれませんが、名前を知らしめていただいたという部分はおっしゃるとおりだと思います。そういった面も、そういったご意見も踏まえまして、補助金の支出については改めて協議をさせていただきながら、必要に応じて増額等も検討させていただきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） ほかにございませんか。

3番、酒井右一君。

○3番（酒井右一君） 2点お伺いします。

これはあの、目的補助金、つまり、6ページですが、目的補助金であって、町の補助金交付規定による交付申請があって交付されるというものでありましような。これ一つと。

あとあの、文書広報費であります。この予算の中でもインターネットの活用という話が出てきまして、誰だっけか、インターネット、どれほど使えんだという話が出てきましたが、これは町であの、例えば、重要な広報をインターネットを通じて只見町のホームページを見てください等々、よく出てくる文言ではありますが、町でそのインターネットを使える環境を、どれだけの世帯の方が持っておられるか。あるいは、インターネットを使える世帯がどれだけいらっしゃるのか。その辺の実態調査をされたことはありますでしょうか。これあの、地区センターがやってもいいでしょうし、地域創生課としてもやられてもいいでしょうが、町としてこの件について、インターネットの浸透度といいましょうか、心配するのは、町がネットを見てください、ホームページを見てください、あるいは重要なマスタープランをネットで見てくださいと、紙では交付しませんよ、みたいな雰囲気になっていくと、そのネット環境の整わない、あるいはノウハウを知らない人にとっては非常に困ると思うものです。

から、その実態を把握されているかどうかを二つ目としてお伺いいたします。

○議長（大塚純一郎君） 総務課長、増田栄助君。

○総務課長（増田栄助君） 1点目の補助金でございますが、補助金交付規則に基づいた手続きをもって交付をさせていただきたいというふうに考えております。

2点目のインターネットの使える環境調査ということのご質問だと思います。只見町も独自にインフラ整備を兼ねさせていただいて、インターネットを使える状況にはさせていただいたところがございますが、実際あの、各家庭、何軒とかというところの状況把握までは現在のところ、してなかったかなというふうに認識してございます。

以上です。

○議長（大塚純一郎君） 3番、酒井右一君。

○3番（酒井右一君） 私自身、個人的にあちこちを聞いてまわったりなんかしても、ネット入れて置くと金かかるから外すとか、入っていてもわかんねえから見ねえと。ホームページって、そのものは何だやという話。さらにあの、町のマスタープランを出てますよと言っても、まあ大体、10人聞いたか聞かぬえのうちでも、6割ぐらいは知らないと。なもんですから、どうも最近、デジタル型でネット環境に依存する姿勢、に感じられますので、ここはあの、以前は只見町は光回線はもう、全国に先駆けて入れたわけですし、ここは実態調査をよくされて、ネットを通じて重要な広報をされるのであれば、それなりの環境を整えて、住民の方々に差し上げるのが妥当かなというふうに考えますが、この点、一般質問のような格好になって恐縮ですが、広報費が出てますので、よろしくをお願いします。

○議長（大塚純一郎君） 地域創生課長、目黒康弘君。

○地域創生課長（目黒康弘君） 今ほどのお質しの件でございます。町のほうでホームページの活用というのは並行して行っておりますが、基本的にお知らせについてはおしらせばんという形で町内のほうを行わせていただいております。ただ、実態については、我々のほうとしても、だいぶ、そういったインターネット社会が繋がっているとはいえ、まだまだ、根底としては基本はおしらせばんというところで思っておりますので、広報広聴としては、そちらのほうを優先的にいろいろ載せたりさせていただいております。今回の広告料につきましては、そういったインターネット上での宣伝というものではございませんで、よくあるテレビ番組を作成した際に、その中で只見町は応援していますとか、あと新聞でよく、高校野球で下のほうに、只見町は応援しています、といったような関連広告費になってございます。今

回のガバメントとか、そういったものに関連して、それを周知するためのものではございませんので、その辺りご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） よろしいですか。

3番、酒井右一君。

3回目。

○3番（酒井右一君） 3回目です。

今後とも、これからどうなるかはまあ、予測はつきませんが、間違いなく、その人工知能っていうんですか、そういうものを通じてネット社会が拡散していくものと思います。でありますので、住民の方に対しては、利用のメリットと、それからセキュリティ上のデメリットと、そういったことも含めて町の重要な施策をネットを通じて俺は見たよと、皆さんが言えるような形で行政執行されるようお願いをしまして、一般質問のようになって恐縮ですが、終わりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） 地域創生課長、目黒康弘君。

○地域創生課長（目黒康弘君） ありがとうございます。

今ほどご指摘いただきましたとおり努めてまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（大塚純一郎君） ほかにございませんか。

ありませんか。

4番、菅家忠君。

○4番（菅家 忠君） ガバメントクラウドファンディングについて、ちょっとお伺いいたします。

今、ページ確認しておりますが、こちら寄附控除の対象になるとはページに記載しております、例えばですね、今、企業、社会全般ですね、CSRという企業の社会的責任というもの、社会貢献というところですね。同じ商品買うのであれば社会的に良いことをしているところから買おうというような風潮がございます。せっかくですね、そういったところがあるのであれば、もし、企業、個人事業主等の寄附のものがあるのであればですね、自分のところはこういう活動をしているよという、その会社自体も、ここの7ページに宣伝ができるのではないかなと思いますので、例えば寄附した企業の方とか個人の方が、ご希望があればどこかに掲載をしていくと。その載ったところをもって、そういった企業はこういう活動を

してますと、応援しておりますというところで応援できるような形が残るようなものができれば、より寄附、応援して下さる方が集まるのではないかなと思ひまして質問いたしました。こういった仕組みはこちらのページの中で可能なのでしょうか。

○議長（大塚純一郎君） 地域創生課長、目黒康弘君。

○地域創生課長（目黒康弘君） 今ほどの菅家議員のご質問にお答えいたします。

まずあの、ふるさと納税。現在、町のほうで募集をさせていただいておりますガバメントクラウドファンディングといったものは、元々、ふるさと納税制度を利用したものでございます。で、ふるさと納税は勿論、税制優遇という面が一つございますけども、それは主に個人をターゲットにしております。ということは、一方で企業は企業版ふるさと納税という制度がございます、企業の方がこの今のガバメントクラウドファンディングに仮に寄附をされたとしても、企業としての税制優遇はないものとなっております。なので、まずそこが一つ、1点違うというところがあります。で、今回、ふるさと納税ということでやらせていただいておりますが、その大きな違いがございます、一方で企業版となりますと、国のほうの承認等がありまして、現在の仕組みよりも時間がかかってしまうので、なかなか企業としては、このふるさと納税、今の制度は利用しづらいというところが一つ大きくございますので、主に個人向けということでご理解をしていただければと思います。

あと一方で、リアルタイムに寄附のお名前を公表できないかというところが2点目のご質問かなと思います。現在あの、ガバメントのクラウドファンディングのページ見ていただきますと、応援メッセージというのは掲載できる形になっております。で、普通に寄附いただいているふるさと納税もそうになっておりますが、年度末に集計をした時点で、一年間の分で、寄附をされるときに、公開に了解いただいた方を町のホームページ等で一覧表にしてご紹介をする形とさせていただいております。リアルタイムになりますと、相当な量が毎日きてございますので、そういった点はまとめて紹介をさせていただくということで、こちらのページのほうでも紹介させていただいておりますので、そういったご理解でいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

○議長（大塚純一郎君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶものあり〕

○議長（大塚純一郎君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

〔「ありません」と呼ぶものあり〕

○議長（大塚純一郎君） 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

採決をいたします。

議案第3号 令和3年度只見町一般会計補正予算（第10号）は、原案のとおり可決する
にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

○議長（大塚純一郎君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇

◇◇◇◇◇

◎散会の宣告

○議長（大塚純一郎君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

ご苦勞様でした。

（午後12時12分）